

患者さん中心の透析医療を追い求めて。

ONE!

Kokuradaiichi hospital

2022

VOL. 006

SEPTEMBER



Chronic kidney Disease Leading Nurse

ONE! 006

2022年9月16日

慢性腎臓病療養指導看護師9名在籍

小倉第一病院 思い出の一丁目一番地

私のONE!



副院長・看護部長

桑原 由紀恵

プロフィール

1991年 看護師免許取得
1992年 小倉第一病院 入職
2010年 透析療法指導看護師 資格取得
(現 慢性腎臓病療養指導看護師 CKDLN)
2019年2月 認知症ケア専門士 資格取得
2019年11月 副院長 看護部長 就任

長期的に一人の患者さんに関わっていただける慢性腎臓病看護にとっても魅力を感じました。

CKDLNの資格があることを知り、前任の看護部長と二人でこの資格取得を目指すことにしました。資格取得後、どのような活動が出来るのか...と迷っていましたが、多くの関連学会等に参加させてもらい、他院での活動内容や講演等を聞くことで刺激となりました。初めは一人からのスタートでしたが、少しずつ資格取得を目指すスタッフが増え、また、資格を持ったスタッフが中途で入職し、2016年より本格的にチームで活動することとなりました。

私のテーマとして最初に挙げたものは、患者さんの思いを最期まで汲み取れる看護でした。そこで事前指示書の導入に取り組みしました。次のテーマとして考えているのは、療法選択です。透析に入る前の患者さんが、自分の意思で納得し選択できる治療法と一緒に考えていきたいと思っています。

現在、当院には9名のCKDLNの資格を持つ看護師がいます。チームで協力し、今後もより良い看護を考え提供できればと思っています。



医療法人真鶴会 小倉第一病院

〒803-0846 福岡県北九州市小倉北区下道津1丁目12-14
TEL:093-582-7730 FAX:093-592-7689

発行/小倉第一病院

【今回の特集】

日本腎不全看護学会は、慢性腎臓病看護現場における看護ケアの質の向上を図ることを目的とし、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践のできる慢性腎臓病療養指導看護師を養成する目的で、2003年度より「慢性腎臓病療養指導看護師(旧透析療法指導看護師)」5学会合同で認定資格制度を導入しました。現在は6学会合同認定(日本腎不全看護学会・日本透析医学会・日本腎臓学会・日本移植学会・日本泌尿器科学会・日本腹膜透析医学会)となり、1,000人以上のCKDLNが全国で活躍しています。

CHRONIC KIDNEY DISEASE LEADING NURSE

慢性腎臓病療養指導看護師 9名在籍

慢性腎臓病(CKD)患者は成人人口の8人に1人に上り、高齢化や生活習慣病によって増加し続けることが予測されています。

腎臓病でもチーム医療の要となる看護師の高い専門性が求められます。

特に当院では多くの“CKDに精通した専門看護師”が必要です。

現在、慢性腎臓病療養指導看護師 9名が在籍しており、全国2位の多さとなっています。(2022.8.12時点)

他職種協働が進む慢性腎臓病の医療現場でその9名が躍動しています。



03

伊串 治代
看護部主任

透析看護に関わって25年が経ちました。CKDLNの資格取得後に小倉第一病院に来たのですが、透析看護の奥深さから抜け出せなくなり、どっぷりとはまっています。また、コロナ禍とあまって多忙な日々ですが、やりがいも感じています。猫と家族が大好きです。



02

長江 美咲紀
副看護部長

透析室で副看護部長をしています。長期のお付き合いになる患者さんの対応で大切にしていることは、看護部の理念でもある「いつでも家族のように温かく」です。会話することが大好きで、患者さんの数だけトーク技術に磨きがかかると日々学ばせていただいております。



01

桑原 由紀恵
副院長・看護部長

3年前の看護部長就任とともに、病院の新築移転・コロナと大変なことが沢山でした。でも、看護師を天職と思っている私。日々、患者さんと関わることや、何か大変なことがあっても、皆で協力しあい解決していくことで、笑顔で頑張っています。



06

安藤 千奈美
副看護部長

腹膜透析指導看護師の資格も持っているため、看護ケアの質の向上を図ると共に、療養生活において個性を考慮した看護実践と評価を行っています。安全で安楽な療養環境を提供し、慢性腎臓病患者さんのサポートができるように日々奮闘しています。



05

浅田 祐樹
看護部主任

病棟主任・手術室長の浅田です。3人の男の子のパパです。主に病棟勤務ですが、それ以外にもCKDLNとして事前指示書、手術室運営、CKD-MBDの管理、電子カルテ委員会、腎リハなど様々なことに携わらせていただいています。多方面での活動にとってもやりがいを感じています。



04

宮城 リサ
病棟看護師

慢性腎臓病療養指導看護師は7年前に取得しました。現在は病棟で勤務しており、自分の役割やCKDLNとして何が出来るか、日々模索しながら業務を行っています。家庭と仕事の両立は大変ですが、少しでもCKDLNとしてお役にたてるようこれからも頑張っていきたいです。



09

告下 真琴
透析室看護師

前職から慢性腎臓病の患者さんに関わり始め、この領域では18年目となります。縁あって小倉第一病院で働くこととなり大変嬉しく思っています。長期療養生活が余儀なくされる患者さんやご家族が、上手く腎臓病と付き合っていけるように援助していきたいです。



08

中田 亜矢子
外来看護師

振り返ると、私の看護師歴の半分以上を透析看護に携わっていることとなります。その中で、よりよく透析患者さんに関わりたい、もっと透析に関することが知りたいとの思いでCKDLNを目指すようになりました。3年間現場を離れていましたが、また透析看護に関わり、資格が役立てられるよう頑張ります。



07

友清 真由美
看護部主任

医療連携室の友清です。患者さんが地域で安心して継続的医療や介護サービスを受けられるよう医療機関や介護施設、行政福祉等の施設を繋いでいます。地域包括ケアシステムの中でCKDLNがお手伝いできることを考えながら院内外の連携をするように心掛けています。

